

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月3日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	和泊町役場	代表者名	町長 前 登志朗
担当者部署	企画課	連絡先電話番号	0997-84-3512
担当者役職	係長	担当者氏名	永野 敏樹
住所	891-9192 鹿児島県和泊町和泊10番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	・昨日の研修会の内容をもとに、庁内のGISデータ等の活用事例についてアドバイスを頂いた。会津若松市での事例と比較しながら担当職員と意見交換を行った。
アドバイザーへの要望事項	・今後、本町がデータ活用型組織への転換を図る際に、アドバイスを頂きたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年10月28日	9時15分	12時00分	30	135
3-2. 派遣場所	会場名	和泊町役場 (企画課会議室)		最寄駅	沖永良部空港
	所在地	鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地		最寄駅からの交通手段	路線バス (沖永良部バス) 又は送迎可能
	派遣形態	フォローアップ (実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	3 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> エビデンスに基づかない、経験 (エピソード) や勘に基づく事業立案の改善。 アンケートなどの調査結果が活かされていない。 データを活用した地域課題の解決 	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> データ活用型組織への転換 	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 会津若松市におけるデータ活用の実例について 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報の活用方法 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事務事業への落とし込みを今後図っていく。 	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・研修会終了後には行いませんでした。後日、研修会資料の配布と併せて実施します。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 統計情報や地図情報など様々な情報 (データ) を活用したEBPMの実践 	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

